

椿市廃寺の時代

— 一律令体制の進展 —

2023.
1/25 (水)



3/21 (火)



会場 行橋市歴史資料館 (コスメイト行橋 2F)

【開館時間】 10時～18時※入館は17時45分まで

【休館日】 毎週火曜日 (3/21は開館) 【観覧料】 無料

特別展記念講演会※事前申込制

テーマ: 「椿市廃寺と周辺の遺跡」

講師: 小田富士雄氏 (福岡大学名誉教授)

日時: 令和5年3月12日 (日) 13時半～15時半

会場: コスメイト行橋 2階企画展示室

定員: 70名 (申込多数の場合は抽選)

申込方法: ハガキに住所・氏名・電話番号・「講演会申込」を明記の上、
歴史資料館へ郵送下さい。(2/21 (火) 必着)

お問合せ・お申込み先▶ 行橋市歴史資料館
〒824-0005 行橋市中央1-9-3
☎0930-25-3133

ギャラリートーク※事前申込不要

日時: 2/5 (日)、2/19 (日)、3/5 (日) 各回 13時半～14時

会場: 行橋市歴史資料館



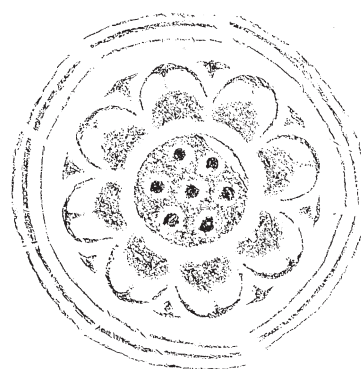
【椿市廃寺出土軒丸瓦】



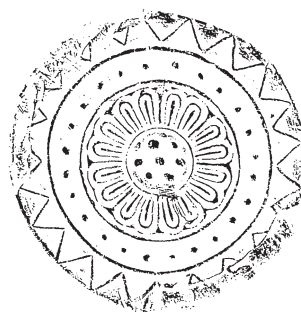
2005年当時の綾塚古墳（南側より）



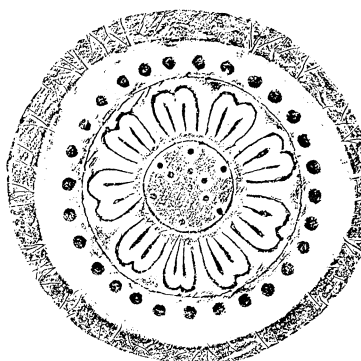
御所ヶ谷神籠石の中門跡（北より）



単弁八弁蓮華文軒丸瓦



複弁八弁蓮華文軒丸瓦



複弁九弁蓮華文軒丸瓦

京都平野は古墳が多い地域と知られています。7世紀にはいると横穴墓群は多く営まれているものの、古墳は急速に無くなります。そして663年の白村江敗戦によって御所ヶ谷神籠石、7世紀末頃には福原長者原官衙遺跡が築かれ、割拠する豪族層が椿市廃寺、木山廃寺、上坂廃寺、8世紀には菩提廃寺と4つの寺院を相次いで建立します。さらに8世紀中～9世紀にかけて豊前国分寺、国分尼寺、豊前国府と豊前国一帯を治める役所、寺院に変わっていきます。こうした京都平野の移り変わりは、京都平野各地の有力者から、地方郡司層、そして豊前国一帯を治める国司の出現といった律令体制の発展を窺うことができます。

北部九州の中でも代表的な古墳から寺院・国府という律令体制への変革が理解しやすい、古代の京都平野の実像に迫ります。

